

「クラブ活動の楽しさ」教えます！

本単元で育成する資質・能力

主体性・思考力

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年「B書くこと」の指導事項ウ「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」「C読むこと」の指導事項イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」の内容を受けて設定したものである。本単元は、「B書くこと」と「C読むこと」の2つの単元を一緒に取り扱う複合単元として設定している。ここでは、「B書くこと」の言語活動例ウ「収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。」を具体化し、来年度新しくクラブ活動に参加する3年生に向けて、自分の入っているクラブを紹介する「クラブ活動しようかいリーフレット」を書くことを単元を貫く言語活動として設定した。

教材文「アップとルーズで伝える」は、わたしたちが普段よく目にするテレビの映像や新聞などの写真が、送り手の目的や意図によって選択されていることを、「アップ」と「ルーズ」という技法を用いて説明しているものである。「アップ」と「ルーズ」の定義やそれぞれの長所と短所が、児童がよく目にするスポーツ映像の写真を挙げて説明されており、興味をもって読み進められるものと考えられる。また、本教材文は、分かりやすい説明とはどのようなものであるかを学習するのに適している。まず第1に、「アップ」と「ルーズ」、「テレビ」と「新聞」という対比の技法が使われている点である。対比して述べることで、2つのものの違いがはっきりする。本教材文では、「～のシーンを見てみましょう。」「～がよく分かります。」など、同じ文末表現が使われており、段落どうしが対比関係になっているため、違いをとらえやすい。また、同じ段落内でも、「長所」と「短所」のように対比が用いられている箇所があり、対比して説明することで、伝えたいことを分かりやすく相手に伝えられることを理解させやすい。第2に、写真と文章が対応している点である。読み手にとっては、写真と文章を対応させて読むことで、分かりやすく説明するための事例の挙げ方を学ぶことができる。そして、その写真を用いた書き手の意図を考えることで、内容をより理解することにつながる。また、読み取ったことは、書く活動にもそのまま生かすことができる。伝えたいことをより分かりやすく伝えるために、写真と文章を対応させて書くことは、「クラブ活動しようかいリーフレット」を作成するに当たってぜひ活用したい技法である。

教材文「アップとルーズで伝える」を、「クラブ活動しようかいリーフレット」の書き方（構成や技法）を学ぶ学習としてとらえ、教材文『クラブ活動リーフレット』を作ろう』では、3年生が知りたいことや自分たちが伝えたいことを考えながら実際に取材をしたり、ページの割り方や見出しの書き方を確認したり、伝えたいことに合った写真の選択をしたりしながらリーフレットを作成する。2つの単元を複合単元として扱う上で、一貫した相手意識や目的意識をもたせることに留意して学習を行うことができると考える。

- 本学級の児童は、3年生で説明文「すがたをかえる大豆」を学習した。ここでは、中心となる語や文をとらえ、段落どうしの間を関係性を考えながら読むことや、写真と文章を対応させて読むこと、事実と

考えを読み分け、段落どうしの関係を考える学習をしている。しかし、説明文を読むことを非常に苦手としており、4月に行われた「教研式標準学力調査（NRT）」において、説明文の読み取りの得点率は39.7%であった。全国得点率は44.5%で、本学級の児童が説明文の読み取りを苦手としていることが分かる。特に、中心となる語や文をとらえ、文章を正しく読むことが苦手で、全国得点率と比較しても10～20ポイント近く低い結果となっている。1学期に説明文「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」を学習しているが、やはり中心となる語や文をとらえることや、目的に応じて内容を大きくまとめることなどはまだまだ苦手意識が強い。また、書くことでは、前述の「教研式標準学力調査（NRT）」において、得点率は68.4%で、全国得点率の71.4%より3ポイント低くなっている。特に、相手や目的に応じて適切に書くことを苦手とし、全国得点率より9ポイント低い。本学級の児童は、1学期に「新聞を作ろう」を学習している。ここでは、中心を明確にし、目的に応じて書くことを学習している。社会科の学習で訪れたごみ処理施設のことや、社会科の学習で学んだ資源としてのごみの活用など、インタビューやアンケートを取り入れながら新聞に表した。さらに、国語科以外でも総合的な学習の時間において、「もっと知ろう、海田の自然」の学習で、瀬野川について調べて分かったことや考えたこと、瀬野川を守っていくために自分にできることなどを、リーフレットにまとめる学習を行っている。しかし、多くの児童が事実の羅列になっており、自分の考えが明確になるような書き方にはなっていない。このことにより、相手意識や目的意識をしっかりとらせ、中心をはっきりとさせて文章を書く指導が必要である。

○ 主体的に学ぼうとする「課題発見・解決学習」の単元開発

指導に当たっては、相手意識や目的意識を常に児童が意識して学習に取り組めるような単元でありたいと考える。そのために、**課題の設定**を大切にしたい。来年度新しくクラブ活動に参加する3年生から「クラブ活動について教えてほしい。」という手紙をもらったことをきっかけに、「クラブ活動しようかいリーフレット」で自分のクラブ活動を知らせようという設定で学習を展開していく。今年初めてクラブ活動に参加するようになった4年生だからこそ、1年前の自分たちが「クラブについて知りたい。」と思っていた気持ちと重なり、より3年生に共感しながら相手意識や目的意識をもって学習に取り組めるのではないかと考えた。児童は今までポスターや新聞、リーフレットなど、さまざまな表現方法を学び、作成してきている。今回は「アップ」と「ルーズ」の対照的な写真を用いてクラブ活動を紹介していくので、学習計画を立てる際には、どの表現方法が適しているかも考えさせたい。

情報の収集の段階では、教材文「アップとルーズで伝える」を通して、「アップ」と「ルーズ」それぞれの長所と短所、また、それらを用いる書き手の意図を読み取ることで、どのような「クラブ活動しようかいリーフレット」にしたらいかがを考えさせたい。そして、対比が使われている点や、写真と文章を対応させている点、それらの点を文末表現により強調させていることを、読み取ったことを「思考ツール」の一つである表に整理する中で気付かせ、リーフレットを書く際、説明のしかたの工夫として取り入れられるようにしていきたい。

整理・分析の段階では、教材文で学んだ説明のしかたを用いて、簡単に説明する文を書いてみる。教師が用意した「アップ」と「ルーズ」の写真を使い、写真と文章を対応させながら実際に書いてみることで、写真で分かることと文章の内容が本当に合致しているか、同じ文章表現や文末表現を使って、対比して読めるようになってきているかなど、リーフレットの書き方を確認し合うようにする。また、身近な新聞や広告、雑誌などで使われている写真をもとに、「アップ」と「ルーズ」を用いて説明することのよさを再度考えさせる。それらの写真には書き手が伝えたいことが込められており、また、読み手が知りたいであろうと思われることが含まれていなければならない。身近に使われているもの

を取り上げることは、読み手としての立場からどのようなことを知りたいか、その写真や文章から知りたいことが伝わるかどうかを考えやすくすることがねらいである。そして、書き手の立場でリーフレットを書くには、どちらの思いも大切にしなければならないことに気付かせたい。

このことをふまえて、「クラブ活動しようかいリーフレット」を作成していくに当たって、もう一度**課題の設定**を行い、取材計画を立てる。3年生の知りたいことは何か、そして、自分たちが伝えたいことは何かを考え、どちらの思いも含むような計画になっているか十分に留意したい。その際、前時までに学習してきた伝えたいことの内容が明らかになるような写真と文章を対応させた説明ができそうな取材内容になっているか、どんな写真を使ったら自分のクラブを分かりやすく紹介できそうかなどを計画段階で明確にさせ、実際に自分のクラブを取材し、**情報の収集**を行う。取材終了後、**整理・分析**を行い、3年生の知りたいこと、自分たちが伝えたいことを再度考えながら取材計画に即して内容を整理・分析し、その内容に合った写真を選んでいく。写真は、教師側が課題設定の時点で児童の取材内容を把握しておき、それに合った写真を撮り、児童に提示するようにする。

まとめ・創造・表現の段階では、「クラブ活動しようかいリーフレット」を仕上げていく。伝えたいことの内容が明らかになるように写真と文章を対応させて書いているか、児童に意識させながら作業にあたらせていく。出来上がったものは3年生の教室に展示し、自由に手に取って見てもらえる環境を作る。読んだ感想を感想用紙に書いてもらい、**振り返り**の段階でその感想用紙を活用したい。3年生にとって分かりやすいリーフレットになっていたかどうか、3年生の声を直接聞くことで、読み手のことを考えて写真を選んだり文章を書いたりすることの楽しさや喜びを味わってほしい。そして同時に、読み手のことを考えて書くことの大変さや難しさも感じてほしい。振り返ったことを、今後の表現活動に生かしてほしい。

○ 「学び合い」における協働的な思考の場の工夫

本単元で身に付けさせたい思考の力は、伝えたいことを分かりやすく伝えるために、写真と文章を関係付けられる力である。したがって、教材文「アップとルーズで伝える」で用いられている写真と文章の対応の効果についてしっかりと考えさせたい。そのための手立てとして、「思考ツール」の一つである表を活用する。表を活用することで教材文に書かれていることを視覚的に整理でき、写真と文章の対応がとらえやすいのではないかと考えた。伝えたいことを分かりやすく伝えるための工夫が理解できれば、リーフレットを書く際、その工夫を生かして書くことができるであろう。また、リーフレットの下書きの段階で、同じクラブ活動に所属しているものどうしでグループを作り、クラブ活動の内容がきちんと伝わる文章になっているか確認を行う。教材文「アップとルーズで伝える」で学習した写真と文章の対応の効果を生かしているか、同じクラブ活動の視点で考えさせたい。

単元の目標及び内容について

- 写真と文章を対応させながら、説明的文章に興味をもって読もうとする。また、伝えたいことを分かりやすくまとめて書こうとする。【国語への関心・意欲・態度】
- 写真と文章を対応させながら、書こうとするものの中心を明確にして書くことができる。【書くこと ウ】
- 写真と文章の対応関係を考えたり、文章の構成と段落との関係を考えたりしながら読むことができる。【読むこと イ】
- 句読点を適切に打ち、必要な箇所は改行して書くことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(エ)】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書くこと	読むこと	言語についての 知識・理解・技能
【単元を貫く言語活動】 写真を効果的に活用し，説明する文章を書く。			
写真と文章を対応させながら，内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりして文章を読もうとしている。 伝えたいことを読み手に分かりやすく伝えるために，写真を活用しながら書こうとしている。	伝えたいことを読み手に伝えるために写真を活用し，写真と文章とを関係付けて説明する文章を書いている。 (ウ)	中心となる語や文をとらえ，写真と文章を対応させながら関係付けて読んでいる。(イ)	文を読みやすくするために，文脈に合わせて読点を適切に打ち，必要に応じて改行しながら書いている。 (イ(エ))

指導と評価の計画

全 14 時間

次	時	学習活動	評 価					
			関	書	読	言	評価規準	評価方法
一	1	<p>課題の設定 (1)</p> <p>○説明のしかたについて学習し，それらを生かして3年生に向けて「クラブ活動しようかいリーフレット」を作ること設定する。</p> <p>・3年生からクラブ活動について教えてほしいという手紙をもらったことをきっかけにして，「クラブ活動しようかいリーフレット」を作ること決定する。そのために説明のしかたを学んでいくことを確認し，学習計画を立てる。</p> <p>○2枚の写真を見比べ，その写真からどのようなことが分かるか話し合う。 (「アップ」の写真，「ルーズ」の写真)</p> <p>・それぞれの写真にはそれぞれによさがあることに気付く。</p> <p>・対照的な写真を用いて，「クラブ活動しようかいリーフレット」を作ることを知る。</p>	○				<p>・「アップ」と「ルーズ」の対照的な写真に関心を持ち，進んで学習計画を立てようとしている。</p> <p>・「クラブ活動しようかいリーフレット」の構成を理解し，作成しようという意欲をもっている。</p>	行動観察

次	時	学習活動	評 価					
			関	書	読	言	評価規準	評価方法
二	2 5	情報の収集（４） ○「アップとルーズで伝える」を読み、説明のしかたの工夫について考える。 ・「アップ」と「ルーズ」の定義、問い ・「アップ」の長所と短所、「ルーズ」の長所と短所【本時3/14】 ・写真（新聞）での「アップ」と「ルーズ」の活用方法、筆者の伝えたいこと ○段落相互の関係について考える。 ・文章構成図にまとめる。			○		・中心となる語や文をとらえながら読み、写真と文章を対応させて、伝えたいことを分かりやすく伝えるための工夫を見付けている。	行動観察 ノート
	6 7	整理・分析（２） ○説明のしかたを整理する。 ・「アップ」の写真と「ルーズ」の写真を用いて、簡単な説明文を書き、整理のしかたについて確認し合う。 ○「アップ」と「ルーズ」を用いて説明することのよさについて整理する。 ・身近な新聞や広告、雑誌などではどのように用いられているか話し合う。	○	◎			・写真と文章を対応させながら、教材文で学んだ説明のしかたの工夫を用いて説明的文章を書いている。 ・説明のしかたの工夫を生かして書こうとしている。	行動観察 ワークシート
三	8	課題の設定（１） ○クラブ活動の取材の計画を立てる。 ・3年生の知りたいこと、自分が伝えたいことをそれぞれ考え、それぞれに合う取材の計画を立てる。	○				・相手意識をもちながら、クラブ活動のどんなことを取材するか考えようとしている。	行動観察 ノート
	9	情報の収集（１） ○自分のクラブ活動について、取材する。 ・伝えたいことのがはっきりしているか、用いたい写真に合う内容であるかを考えながら取材する。	○				・相手意識をもちながら、計画に沿って取材しようとしている。	行動観察
	10	整理・分析（１） ○「クラブ活動しようかいリーフレット」にどのような内容を書くか考える。 ・3年生がクラブ活動のどんなことが知りたいか、もう一度考え、書く内容を整理する。また、その内容に合った写真を選ぶ。		○			・相手意識をもちながら、リーフレットに書く内容を具体的に考え、その内容に合った写真を選んでいる。	行動観察 ノート

次	時	学習活動	評価					
			関	書	読	言	評価規準	評価方法
三	11 5 13	まとめ・創造・表現（3） ○「クラブ活動しょうかいリーフレット」を作成する。 ○3年生にリーフレットを通して、クラブ活動を紹介する。		◎		○	・写真と文章を対応させながら、説明のしかたの工夫を生かしてリーフレットを書いている。 ・文脈に合わせて読点を打ったり、改行したりしながら書いている。	リーフレット
	14	振り返り（1） ○「クラブ活動しょうかいリーフレット」が3年生にとって分かりやすいものであったか、今後リーフレットを書くとき、どのようなことに気を付けたらよいか、身の回りのリーフレットを参考にしながら話し合う。	○			・より分かりやすい説明的文章を書くために、今後気をつけるとよいことを話し合おうとしている。	行動観察	

写真を用いたリーフレットや新聞の切り抜きを並行して読む。

本時の学習

（1）本時の目標

- 「アップ」と「ルーズ」、それぞれの長所と短所をとらえながら写真と文章を対応させて読み、説明のしかたの工夫を理解することができる。

（2）本時の評価規準

- 中心となる語や文をとらえながら読み、写真と文章を対応させて、伝えたいことを分かりやすく伝えるための工夫を見付けている。 【読むこと】

（3）本時の学習展開（3時間目／全14時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 前時までの学習を振り返り、本時の課題を確認する。 めあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 伝えたいことを分かりやすく伝えるための工夫を見つけよう。 </div>	◇「クラブ活動しょうかいリーフレット」を作成するために、伝えたいことを分かりやすく伝える工夫を見付けることを確認する。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>2 4段落から6段落までを読み、書かれていることを整理する。</p> <p>○まず、写真を見て、分かることはどんなことでしょうか。</p> <p>○文章ではどのように書かれているでしょうか。</p> <p>3 ペアで確認する。</p> <p>○整理した表をペアで確認しましょう。</p> <p>4 全体で交流する。</p> <p>○どのようなことが書かれていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アップ」は、細かい部分の様子がよく分かる。 ・「アップ」は、うつさされていない多くの部分のことは分からない。 ・「ルーズ」は、広い範囲の様子がよく分かる。 ・「ルーズ」は、各選手の顔つきや視線、それらから感じられる気持ちまでは、なかなか分からない。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 分類する</p> <p>「アップ」と「ルーズ」について整理したことを、接続詞や文末表現に着目しながら長所と短所に分類する。</p> </div> <p>5 伝えたいことを分かりやすく伝えるための工夫をまとめる。</p> <p>○今日、学習した部分で見つけた、分かりやすく伝えるための工夫を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真と文章の対応 ・「アップ」と「ルーズ」の対比 ・長所と短所の対比 ・文章表現や文末表現 	<p>◇写真と文章、それぞれに着目させ、前時と同じように写真と文章が対応していることに気付かせる。</p> <p>◆書かれていることを整理できない児童には、写真で分かることが文章のどこに書かれているか一緒に確認する。また、同じような文章表現、文末表現のところを見付けさせ、書かれていることを整理できるように、声かけを行う。</p> <p>◇写真と文章が対応しているか確認させる。</p> <p>◇交流する中で、書かれていることが写真から分かること(長所)だけでなく、分からないこと(短所)にも触れられ、それぞれが比べて書かれていることを確認する。</p> <p>◇同じような文章表現、文末表現で書くと、比べて読みやすいことに気付かせる。</p> <p>◇どうしてその部分を分かりやすく伝えるための工夫としたのか、理由もまとめさせる。</p>	<p>☆写真と文章がどのように対応しているか考えながら整理している。</p> <p>◎写真や文章から、伝えたいことを分かりやすく伝えるための工夫を見付けている</p> <p>〔読むこと〕</p> <p>(行動観察・ノート)</p>

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>私が見つけた分かりやすく伝えるための工夫は2つあります。</p> <p>1つ目は、写真と文章が対応しているところです。写真から伝わることを文章で分かりやすく説明しているからです。</p> <p>2つ目は、比べて書いてあるところです。「アップ」と「ルーズ」の両方に長所と短所が書いてあって、比べて書くとちがいがはっきりするからです。</p>		
<p>6 本時の学習をまとめる。</p>	<p>◇リーフレットを作成するときには、「アップ」と「ルーズ」の写真のそれぞれのよさを生かして作成していくことを伝える。</p>	

(4) 板書計画


まとめ

①写真と文章が対応し写真から伝わることを文章で説明


②比べて書いてある↓「アップ」「ルーズ」の両方に長所と短所

ちがいははっきり

試合終了直後のシーンを見てみましょう。



アップでとったゴール直後のシーンを見てみましょう。



<p>ルーズ</p> <p>幅広い部分の 様子がよく分 かります。</p>	<p>でも</p>	<p>アップ</p> <p>細かい部分の 様子がよく分 かります。</p>	<p>長所</p>
<p>各選手の顔つ きや視線、そ れらから感じ られる気持ち までは、分か りません。</p>	<p>しかし</p>	<p>走っている選 手以外の、う つさく部分 の多くは、分 りません。</p>	<p>短所</p>

めあて

伝えたいことを分かりやすく伝えるための工夫を見つけよう。

「クラブ活動の楽しさ」教えます！

アップとルーズで伝える

中谷 日出

・両手を広げて

・口を大きく開けて

・全身で喜びを表して

・あちこちでふられる旗、たれまく

・選手とおうえんした人たちが一体となって、勝利を喜び合っている

〈参考〉 本単元で使用する思考ツール

〈表〉

ルーズ	アップ	
		長所
		短所